



安順市研修員は交流ボランティアの方々と広島平和記念資料館を見学後、世界遺産厳島神社を探索散歩し交流を深めました。

「市民参加」を推進(アクションプラン)

JICA 草の根技術協力事業 (地域提案型)「安順市における環境保全管理研修」(第2年次)

安順市で「宇部方式」をもとにした環境行政を推進し、安順市に適した環境管理体制を構築するため、昨年度から3ヵ年計画で貴州省、安順市からそれぞれ研修員を受け入れ「安順市における環境保全管理研修」を実施しています。安順市が貴州省の環境行政モデル地区になることを目指しています。

本年度は2年次として「宇部方式」の手法と精神について学ぶため、貴州省及び安順市から環境行政指導者5名を受け入れました。

- 研修実施主体 JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
- 期 間 平成22年10月12日～10月26日 15日間
- 研 修 員 羅 鴻翔 貴州省環境保護庁 副処長
 孫 好之 貴州省環境保護庁 助手調査研究員
 張 静曄 安順市環境保護局 チーフエンジニア
 周 遊 安順市環境保護局 環境監察支隊支隊長
 陳 健 安順市環境保護局 安順市環境モニタリングセンター センター長

- 研 修 先 宇部興産(株)、ユーエムジー・エービーエス(株)、セントラル硝子(株)、
 北九州市エコタウンセンター、日本環境安全事業(株)、共英製鋼(株)、
 都市産業(株)、宇部地区環境保全協議会、山口県、宇部市

開講式



宇部市長を表敬訪問しました。

研修風景



ユーエムジー・エービーエス(株)で化学工場の環境対策について講義見学を受けました。



北九州市エコタウンセンターで廃棄物リサイクル対策を学びました。



都市産業(株)で産業廃棄物の処理設備を見学しました。



宇部興産(株)宇部セメント工場でセメントキルンによる資源リサイクル設備を見学しました。



宇部市広瀬浄水場を見学しました。



山口県宇部健康福祉センターでモニタリングシステムを習得しました。

閉講式



修了証を受領し、関係者と記念撮影しました。

ファイナルレポート発表会

ファイナルレポート発表会で研修員は帰国後のアクションプランを発表しました。

アクションプラン

「宇部方式」の理念を安順市の環境保護の仕事に取り入れ、安順市で「宇部方式」の花を咲かせ実を結ばせたい。そのために、帰国後以下のことに注力します。

1. 関係する指導者に「宇部方式」について活動報告をし、やりを行います。
2. 安順日報、テレビ、市政府ホームページ、安順市環境保護局ホームページなど多種のマスコミを通じて、「宇部方式」の優れたところを宣伝します。
3. 宇部環境審議会のやり方を参考にし、市民に環境改善方策の制定に参加してもらいます。
4. 宇部市民環境部と企業との間に「環境保全協定」を結ぶというやり方を参考にし、管轄範囲内の企業と「汚染物情報公開と自主的に法律を守る協定」を結びます。
5. 現在申請している「国家環境保護モデル都市」の企画を見直し、「宇部方式」の「産・官・学・民」のパートナーシップを取り入れ、建設を推進します。



ファイナルレポートを発表する張静暉さん。



Q 中国安順市の環境管理構造と課題は何ですか？

A 安順市環境保護局は安順市人民政府の32の政府組織の一つです。環境保護局の下に環境監察支隊、環境モニターリングセンター、環境プロジェクト評価センターと環境保護科学研究所が設けられています。環境保護局の仕事内容は宇部市市民環境部、宇部市環境審議会、山口県宇部健康福祉センターと山口県環境保健センターの仕事の内容に相当します。現在、中国では国と省レベルの機構とが公害防止に関する法律と基準を定めます。それ以外に、清潔生産促進法および循環経済発展と省エネ排出削減に関する政策も制定します。改革開放30年間で、導入、改造と利用を通じて、たくさんの汚染防止技術をマスターすることができました。例えば、安順市発電所が使っている脱硫装置は日本から導入した「湿式石膏法」という技術です。今、各県・区が建設した污水处理場はすべて活性汚泥処理法を利用しています。つまり、中国国内で、環境保護に関する法律、基準および技術は完備しています。しかし、市と県の環境保護局の主な仕事は汚染物を排出する企業・事業に対し法律と基準を守らせ、処罰することです。日本と違って、国や省よりさらに厳しい基準を定めることはできません。現在、安順市には専門的に環境保護に従事する協会や民間機構はありません。そのため、市民と政府間の意思の疎通がうまくいかず、政府の環境改善計画は常に予想した結果にならない点が問題とされています。(回答者：安順市環境保護局 馬玉星)

JICA 草の根技術協力事業（地域提案型）「安順市における環境保全管理研修」 専門家派遣

平成21・22年度に宇部市で研修を受けた研修員が帰国後、安順市及び貴州省において「宇部方式」の研修内容を報告し、環境保護局が組織として「宇部方式」を理解しているかを現地を訪問し確認しました。その結果、宇部市での研修を受けた成果が、安順市での環境保全施策に早速取り組まれていること、また、今後の更なる取組みを考えていることが確認できました。

■ 研修実施主体	JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
■ 期 間	平成23年2月20日～2月25日 6日間
■ 専 門 家	藤永義昭 宇部市市民環境部環境政策課 課長 丹羽孝純 宇部環境国際協力協会 事務局長



羅榮彬安順市副市長、張明安順市環境保護局長と協議しました。



農村家庭向けのメタンガスを発生する人間と家畜の糞尿処理施設を見学しました。

「宇部方式」を学ぶ (マレーシア青年)

JICA 青年研修事業 (都市環境管理コース)

マレーシア各地の将来の国づくりを担う青年13名が環境行政分野の研修を受けました。研修では環境省、山口県、宇部市の環境行政概要について学びました。さらに、宇部市が経験した激甚な粉じん公害を「宇部方式」により問題解決した経験や市内企業、大学等の環境保全技術を学び、幅広い環境保全対策・技術を習得しました。また、市内のボランティア家庭にホームステイし、日本の家庭の環境対策についても話し合いすることができました。

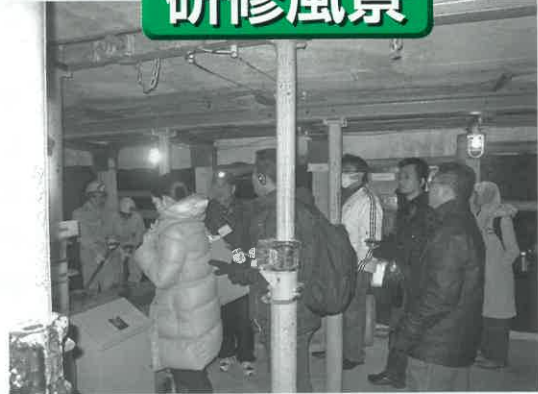
■ 研修実施主体	JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
■ 期 間	平成23年1月20日～2月1日 13日間
■ 研 修 員	マレーシア共和国、13名
■ 研 修 先	環境省、山口県、宇部市、山口大学、宇部フロンティア大学、宇部興産(株)、宇部地区環境保全協議会、都市産業(株)、北九州市エコタウンセンター、日本環境安全事業(株)、すみだ環境ふれあい館、東京都下水道局

開講式



久保田市長を表敬訪問しました。

研修風景



石炭記念館で宇部の炭鉱の歴史を学びました。



宇部フロンティア大学で行政と市民との協働について学びました。



すみだ環境ふれあい館で雨水利用について学びました。



宇部地区環境保全協議会で企業の環境対策について学びました。



東見初広域最終処分場を見学しました。

交流



ホームステイでは日本の家庭生活を体験し、日本家庭の環境対策を学ぶことができました。

閉講式



JICA中国の有田敏行課長から修了証書が授与され、市民の祝福を受けました。

その他研修員受け入れ



平成22年度第2回「大気汚染源管理」地域別研修コース

研修主体：北九州国際技術協力協会

期 間：平成22年11月12日(1日間)

研 修 員：モンゴル、エジプト、スリランカ、中国 7名

研修視察先：宇部興産(株)、宇部市

環境国際セミナーの開催



(平成22年度総会後)

第1回

◇平成22年6月29日(火)

◇宇部市文化会館

共催：宇部市

演題：「北九州市の環境国際協力」

講師：北九州市環境局 環境国際戦略課長 石田 謙悟氏

第2回

◇平成23年4月26日(火)

◇宇部市文化会館

共 催：宇部市、(株)日本政策金融公庫国際協力銀行

演 題：「海外事業展開と環境問題」

講 師：(株)日本政策金融公庫国際協力銀行西日本営業部長廣田泰夫氏

演題2：「海外における環境等のビジネスに対する公的支援制度」

講 師：(株)日本政策金融公庫国際協力銀行西日本営業部長廣田泰夫氏

演題3：「日本政策金融公庫・中小企業事業の海外展開資金制度について」

講 師：(株)日本政策金融公庫下関支店中小企業事業融資課長早川和宏氏



環境保全技術講座



生ごみ破砕分別機



概要説明講義



第1回

◇平成22年8月11日(水)

◇福岡県大木町「おおき循環センター」見学

生ごみ、生し尿を原料とするメタン醗酵施設と集客の見込める観光施設や町民の集いあう施設とを町の中心に配置した「おおき循環センター」を見学しました。

第2回

◇平成22年9月15日(水)

◇宇部市文化会館

共 催：宇部市

演題1：「事業所間連携による省エネルギー」

講 師：宇部興産(株) エネルギー・環境事業部
技術開発室長 寺田 隆彦氏

演題2：「省エネルギー型排水処理技術」

講 師：山口大学大学院理工学研究科
教授 工学博士 今井 剛氏

交流ボランティアの活動

JICA 青年研修（マレーシア）では休日に当協会交流ボランティアの家庭にホームステイし日本家庭を理解しました。JICA 安順市研修では当協会交流ボランティアと一緒に広島平和記念資料館や宮島を探訪し、交流するとともに日本文化、歴史を理解しました。



ホームステイ先のボランティアと山口市瑠璃光寺を探訪したマレーシア研修員。



広島平和記念公園でボランティアと交流する安順市研修員。

●●●●● 広報活動 ●●●●●

平成22年度総会



「エコなかまの集い」でパネル展示と当協会の活動報告をしました。(平成23年2月27日)



平成22年6月29日(火)に開催し、前年度事業報告、新年度事業計画が審議、承認されました。

ボランティアのお願い



国際交流および技術支援のボランティアを募集しております。皆様方の事情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんか。

<国際交流ボランティア>

今後、海外から多数の研修生が、宇部市を訪れると思われます。外国語(英語、スペイン語、中国語等)の会話が可能な方で、休日のホームステイ、市内外の案内等をしていただきます。

<技術支援ボランティア>

環境技術をお持ちの方で、海外研修生の受け入れのための研修コースの策定、研修生の受け入れ、途上国環境対策調査等をしていただきます。

会/員/募/集

現在の会員数

- 個人 300人
- 法人団体 75団体

宇部IECAは会員の皆様の会費により運営されております。

会費は次のとおりです。

- ★個人会員 1口 1,000円(年額)
- ★法人団体 1口 10,000円(年額)
- ★何口でも可

宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところにあります。「会員になって一緒に国際交流を行ってみませんか」と知人等へのお誘いをお願いします。

発行 宇部IECA
事務所

宇部環境国際協力協会

〒755-0045
山口県宇部市中央町3丁目12-19
オフィス OHI 201

TEL・FAX (0836) 36-3199
Eメール info@ieca.biz
URL http://www.ieca.biz